

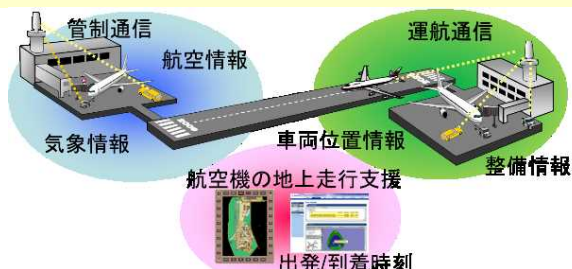
貢献内容：AeroMACS(地上業務)の実現 (意思決定時期：2022年度)

研究機関名：電子航法研究所 (ENRI)

【実現施策の概要】

AeroMACS: Aeronautical Mobile Airport Communications System
(次世代の空港用航空移動通信システム)

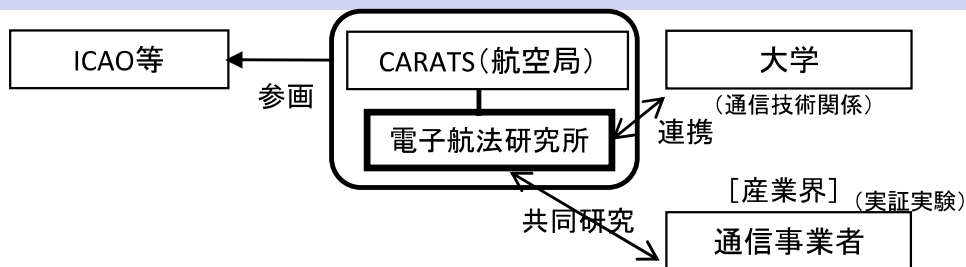
- ICAO国際基準に適合するAeroMACS(空港用航空移動通信システム)を地上業務に導入し、状況認識能力向上と運航効率性の向上をはかる



■ 空港へのAeroMACS導入のコンセプト

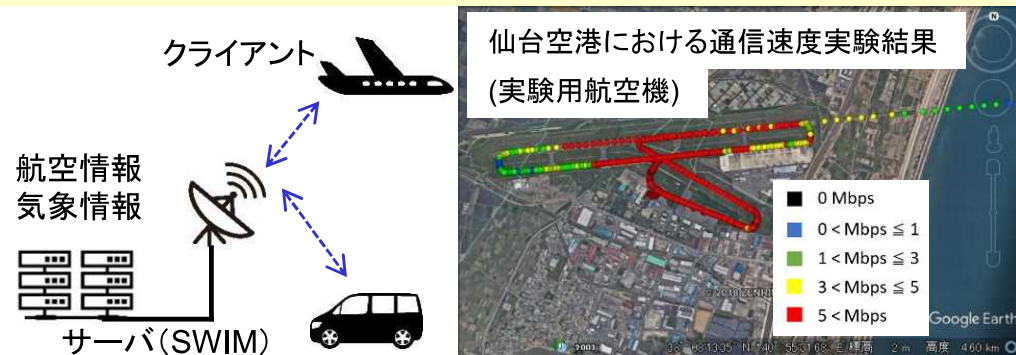
【研究の実施概要】2012-2019年度

- ・設定課題・目標 AeroMACS国際標準化・性能評価、AeroMACS実用化・アプリケーション評価・検証
- ・研究テーマ名 【WiMAX技術を用いたCバンド空港空地通信網に関する研究(2012～2015年度)(ENRI:住谷 泰人、河村 暁子)】
- 【空地通信技術の高度化に関する研究(2016～2019年度)(ENRI:住谷 泰人、河村 暁子)】
- ・研究実施体制 下記参照



【成果還元の内容】

- AeroMACSの導入に必要なICAO基準・規格の策定と共に、国内での実用化にあたり事業化に資する実装・普及技術について、航空機や空港内の車両等と接続するアプリケーションを開発し、実証した。
- 通信事業者との共同研究により、羽田空港で実証実験(2016～2018年度)



【ENRI開発技術の反映内容】

- ① 研究用実験システムの開発を通じ、ICAO国際基準の規格策定に貢献した。策定規格は実用化機材の性能評価に反映された。
- ② AeroMACSとSWIMの両実験システムを接続し、移動中の航空機や車両と地上局との間で、SWIM情報を通信できることを確認した。

SWIM: System Wide Information Management (情報共有基盤)

【WEB参照先】電子航法研究所 年報

https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局
国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
(研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432